



# 宮野小だより

～美しい心もち夢に向かって進む子どもの育成～



令和7年2月3日



学校ホームページ

## 生成AIが学校にやってくる!

山口市は、歴史と自然が融合した美しい都市です。周囲には豊かな山々や海が広がり、観光名所としては瑠璃光寺や山口県立美術館があります。地元の特産品や温泉も楽しみ、訪れる人々に癒しを提供します。

この文章は、最近脚光を浴びている人工知能の生成AIが自動的に作成したものです。

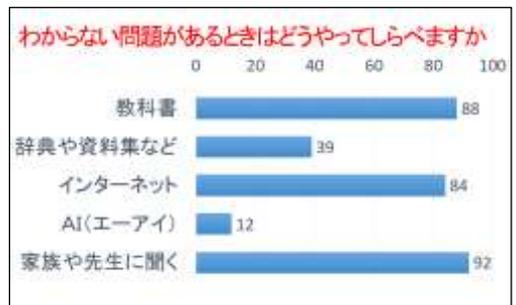
「山口市を100文字で紹介して」という質問を書き込むと、瞬時に作文してくれました。「話題にはなっているけれど、難しそう」、「自分には関係がないかな」といった声が聞こえてきそうですが、令和7年度から山口県内の中学校では生成AIを活用する取組が始まります。

その使い方はというと、タブレット端末に生成AIを搭載した学習アシスタントアプリを導入して家庭学習で活用していきます。そのアプリは問題の答えは教えず、答えを導き出すための方法を助言します。つまり、どうやって解けばよいか分からない課題があるときに、解決するための手助けをしてくれる家庭教師のような存在として活躍してくれそうです。

文部科学省は、「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン」を今年の12月26日に公表しました。小学校でも導入される日はそう遠くないように思います。

さて、従来のAIは、ロボット掃除機や炊飯器といった家電に取り入れられて広く使われていますが、生成AIは、単に作文だけでなく画像や音楽など幅広い分野で機械に詳しくない人でも創作物を簡単に作ることができるようになります。ただし、気を付けなければいけない点もあります。1月にチベットで起きた地震の際には、がれきに埋もれた子どもの動画がニュースとなりましたが、実は生成AIが作った嘘の動画だったことが分かりました。

先日、他市の小学生にアンケート調査をする機会がありました。「学習で分からないときはどうしますか」という質問の回答は右のグラフのようになりました。教科書や人に聞くと同じ割合で、「インターネットで調べる」と回答した児童がいます。また、「AIで調べる」という児童も出てきています。話しかけるだけで自力解決に導いてくれる便利な時代になっている一方で、偽情報や偽画像を見抜く力も必要となります。



簡単に答えにたどり着くことができる便利さは「働き方改革」にもつながる良い時代だと思えますが、一方で、人間の考える力を鈍くしてしまうのではないかと心配もあります。「試行錯誤はタイパ(効率)が悪い…」という時代にはなってしまうのでは。

校長 古屋 伸浩

## CS(コミュニティ・スクール)コラム



### ■どんど焼き・イブキの木間伐【1月11日(土)】

みやの地域づくり協議会・みやサポの方々によるどんど焼きを行いました。この日は婦人会のご協力により、温かいぜんざいも振舞われて、参加者は一年の健康を願っていました。また、次の日にはみやサポの3名の方が、ブランコ裏側の密集したイブキの木を剪定しやすいようにと間伐していただきました。大変ありがとうございました。



